資料１

公共施設に関する市民意識調査結果について

令和８年９月２８日
市民協働推進部　行政管理課

公共施設に関する市民意識調査 結果について

１．実施概要

◆目的

市民の公共施設全般に対する意向，利用している施設の分類や頻度・公共施設の今後の方針についての考え方等を把握

◆調査実施期間

令和８年７月２８日 ～ ８月１２日

◆調査対象者

- 各年代（１５歳以上～１９歳以下，２０代，３０代，４０代，５０代，６０代，７０代以上）から各５００名（男女比１：１）を抽出，計3,５００名のLINE登録者
- 市内施設の利用者

◆調査方法

① 抽出されたLINE登録者に対し，LINEによる依頼・回答
② 施設利用者に対して，施設の掲示板等で周知し，LINEによる回答
③ ８月号の広報「市の財政や公共施設の現状について」のWebページから，LINEによる回答

◆調査項目

① 施設の利用状況の実態把握
② 公共施設の課題の把握
③ 公共施設の集約化の考え方
④ 公共施設のコスト縮減策
⑤ 類似施設のあり方
⑥ 公共施設見直しの優先順位
⑦住民説明会の参加意思

◆調査回収目標数

- 各地域別 及び 各年代別：１５０名以上（合計1,０５０名以上）
- 男女別：525名以上（合計1,０５０名以上）

回収率：３０％目標

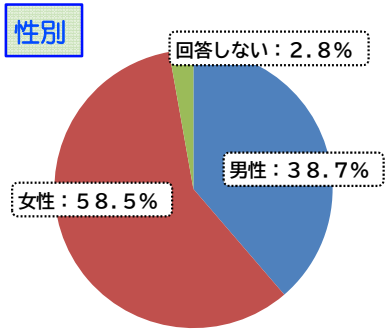
2.市民意識調査の実施結果（全体）

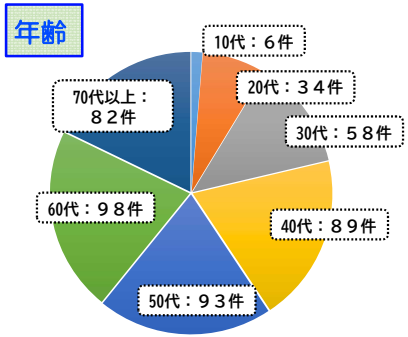
◆ 有効回答数　４６０件（内訳：・大崎市公式LINE 426件 ・掲示ポスター 19件 ・広報おおさき 9件 ・その他 6件）

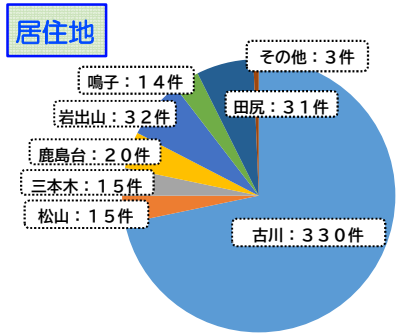
◆ 有効回答率　１２.２％（426件 / 3,500件）（LINEによる依頼回答者）

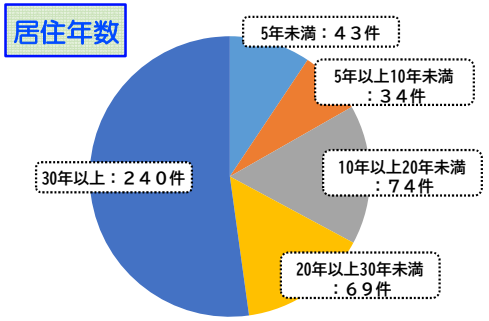
3.市民意識調査の実施結果（質問･回答）

① 性別・年齢・居住地・居住年数について

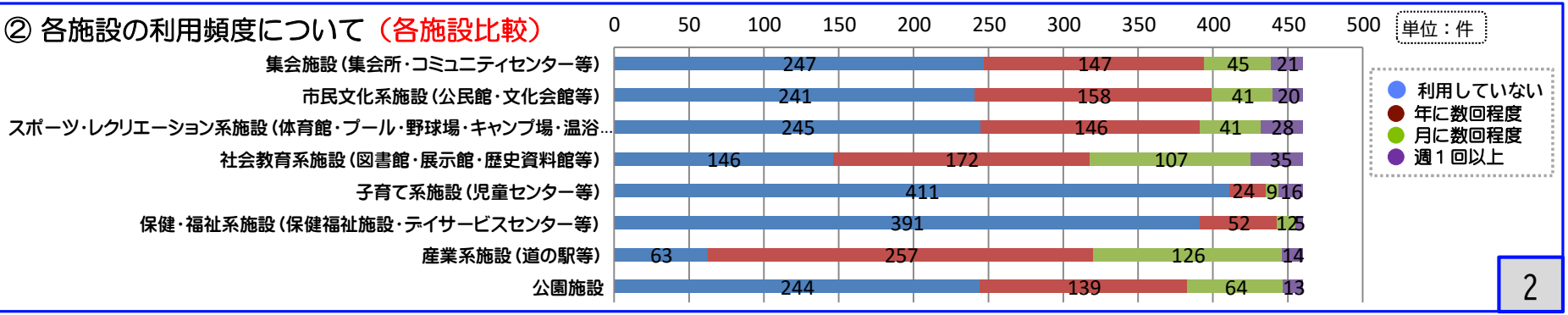








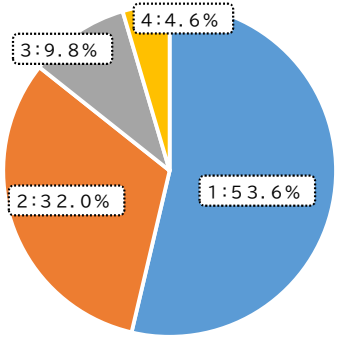
② 各施設の利用頻度について（各施設比較）



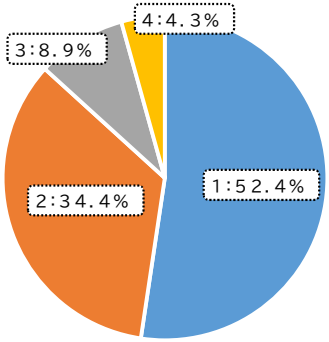
② 各施設の利用頻度について（各施設別）

1：利用していない　2：年に数回程度　3：月に数回程度　4：週１回以上

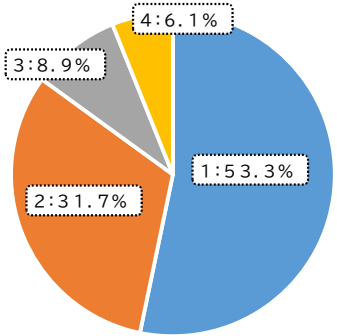
(1)集会施設
集会所・コミュニティセンター等



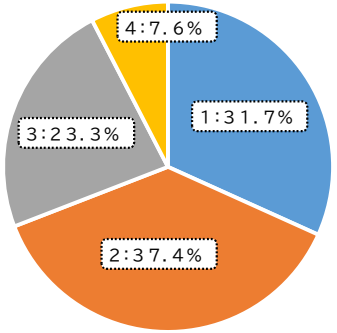
(2)市民文化系施設
公民館・文化会館等



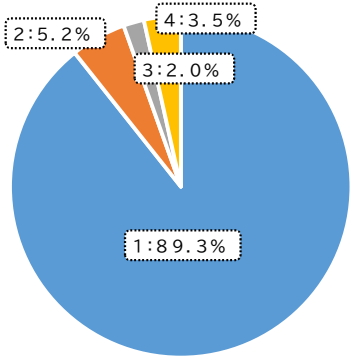
(3)ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ施設
体育館･ﾌﾟｰﾙ･野球場･ｷｬﾝﾌﾟ場等



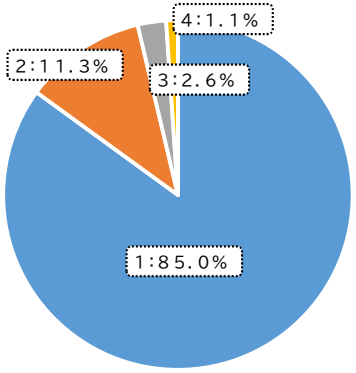
(4)社会教育系施設
図書館･展示室･歴史資料館等



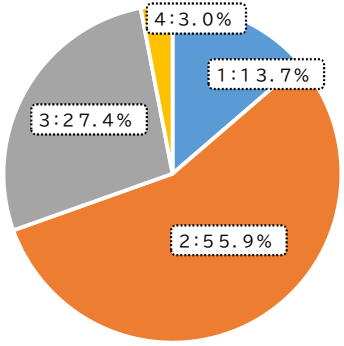
(5)子育て系施設
児童センター等



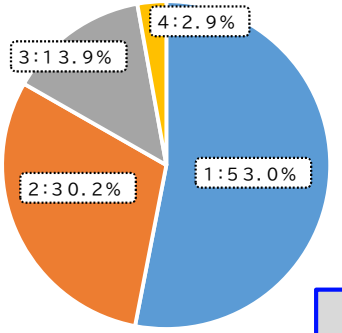
(6)保健・福祉系施設
保健福祉施設･ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ等



(7)産業系施設
道の駅等



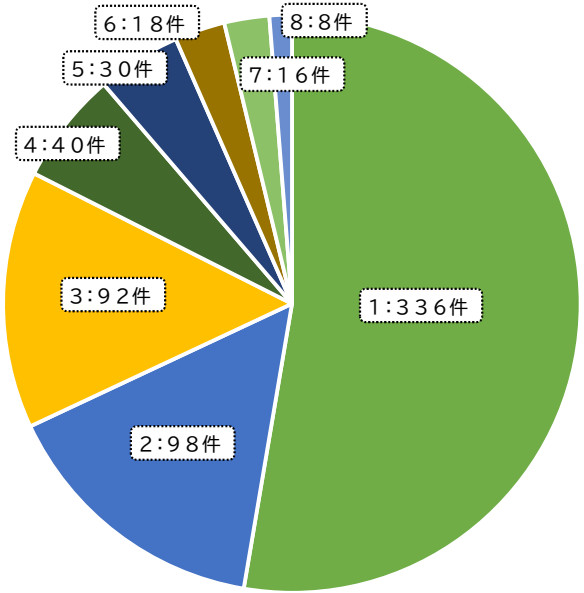
(8)公園施設



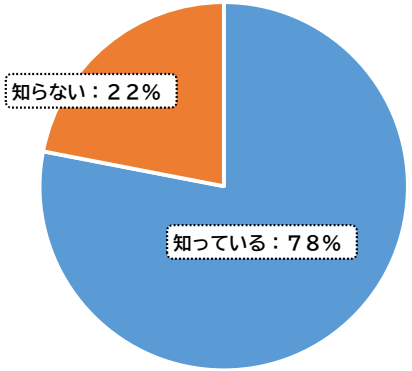
③ 公共施設を利用していない理由について

※すべて利用している方は「特に理由はない」を選択
※複数回答可

1：利用する機会がない　2：特に理由はない
3：設備，内容に魅力がない　4：場所が不便
5：時間が合わない（予約が取れない）　6：施設があることを知らなかった
7:民間の類似施設を利用している　8：利用料金が高い

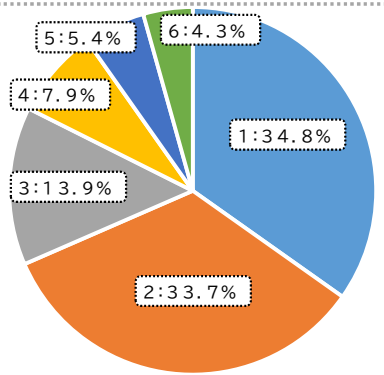


④ 施設の老朽化が全国的な課題であることについて

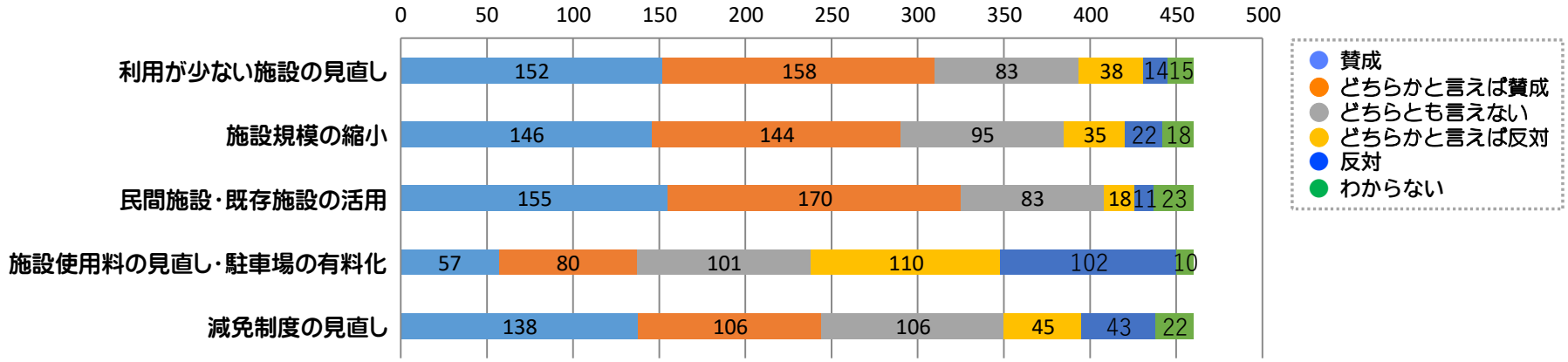


⑤ 施設の集約化等，規模を縮小することについて

1：賛成　2：どちらかと言えば賛成　3：どちらとも言えない
4：どちらかと言えば反対　5：反対　6：わからない

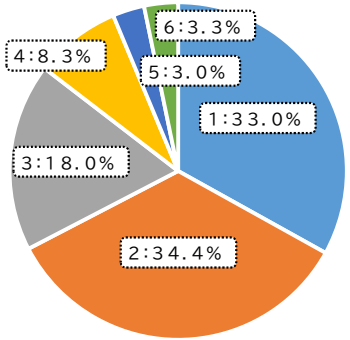


⑥ 費用を抑えるための各取組について（各項目比較）

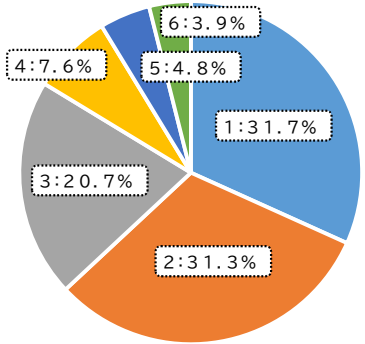


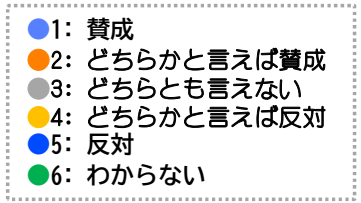
⑥ 費用を抑えるための各取組について（各項目別）

(1)利用が少ない施設の見直し



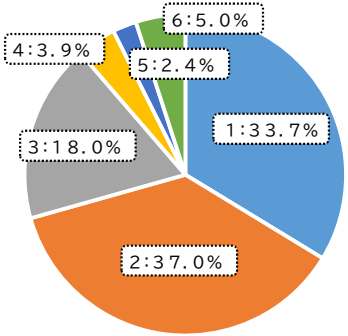
(2)施設規模の縮小



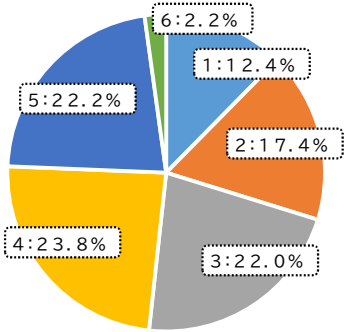


⑥ 費用を抑えるための各取組について（各項目別）

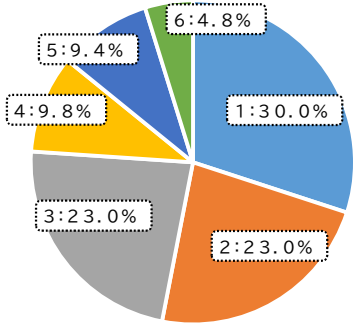
(3)民間施設，既存施設の活用

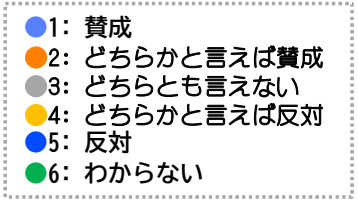


(4)施設使用料の見直し，駐車場の有料化

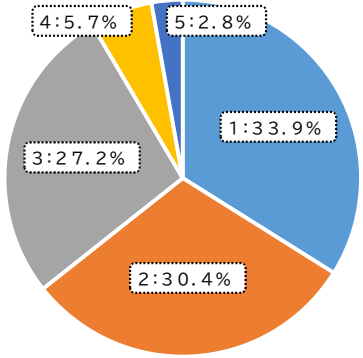


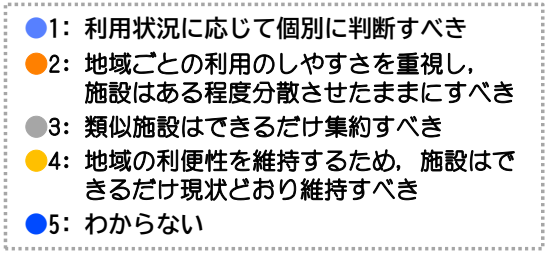
(5)減免制度の見直し



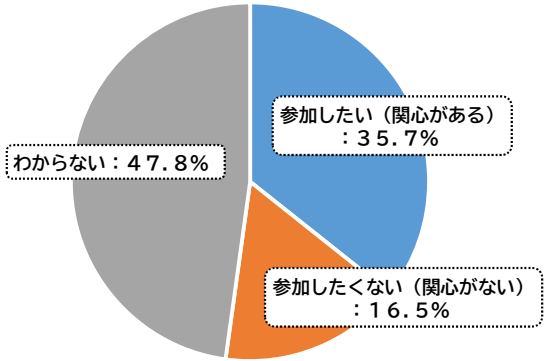


⑦ 似たような機能を持つ公共施設の今後のあり方について



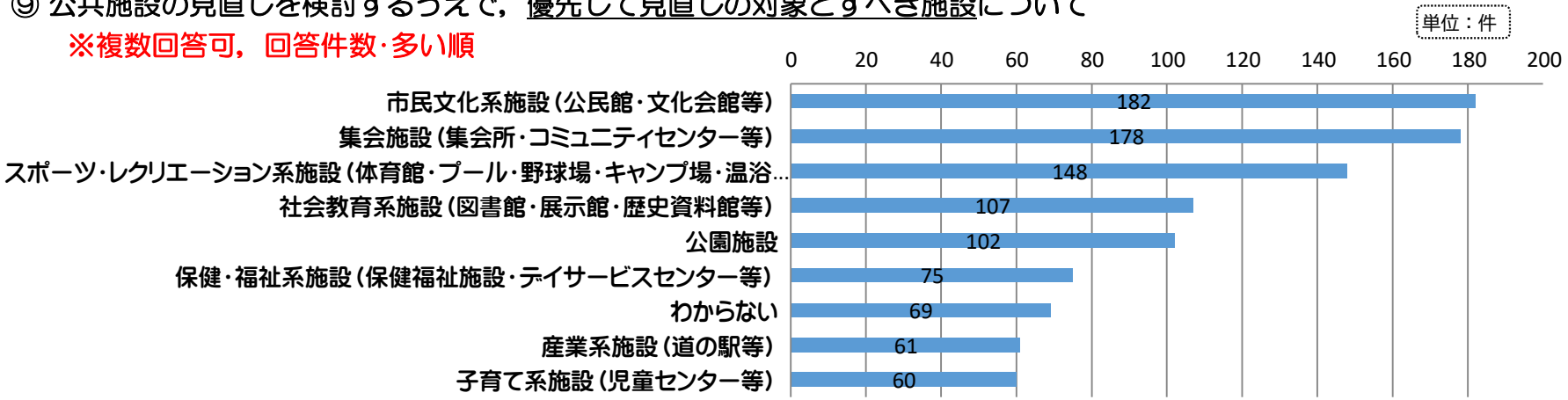


⑧ 住民説明会への参加について



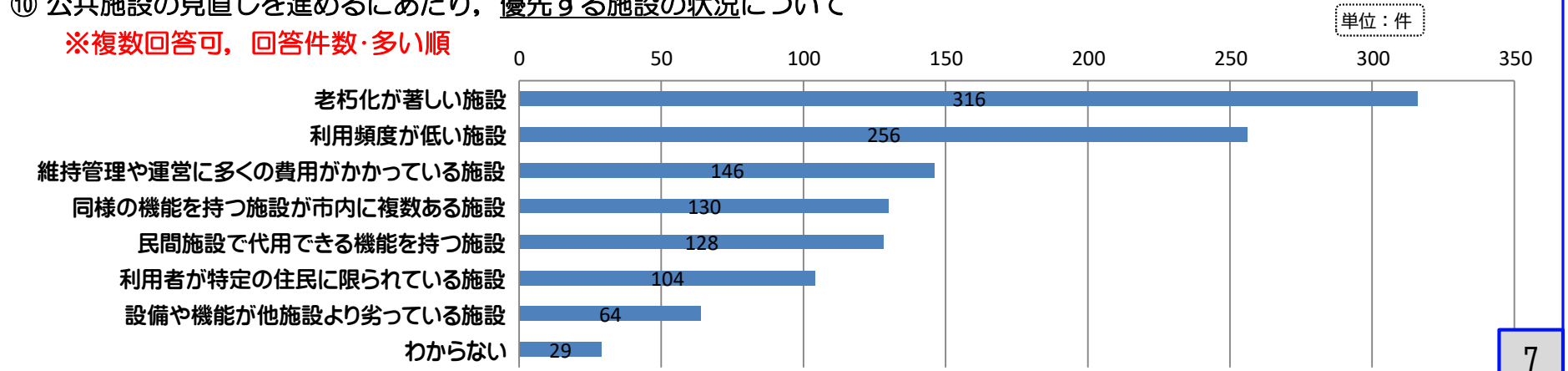
⑨ 公共施設の見直しを検討するうえで，優先して見直しの対象とすべき施設について

※複数回答可，回答件数･多い順



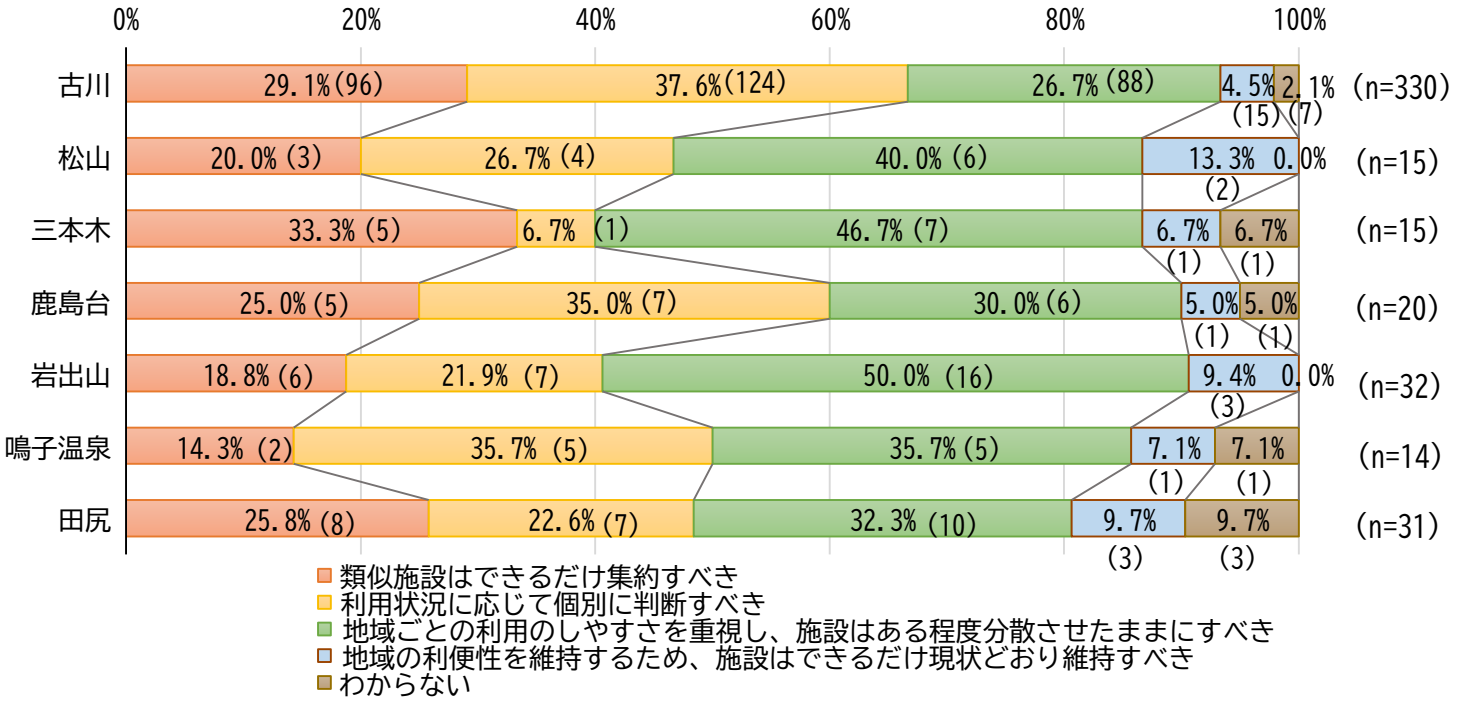
⑩ 公共施設の見直しを進めるにあたり，優先する施設の状況について

※複数回答可，回答件数･多い順



4．クロス集計結果

① 居住地×同様の機能を持つ公共施設が複数ある場合，今後どのようにすべきか



・回答者数の最も多い古川地域では，「利用状況に応じて個別に判断すべき」が最も高く４割を占めているが，岩出山，三本木，松山，鳴子温泉の順に「地域毎の利用のしやすさを重視し，施設はある程度分散させたままにすべき」が５割～３割と占めている。

② 居住地×どのような状況の施設から優先して見直すべきか　※複数回答可，回答上位3項目

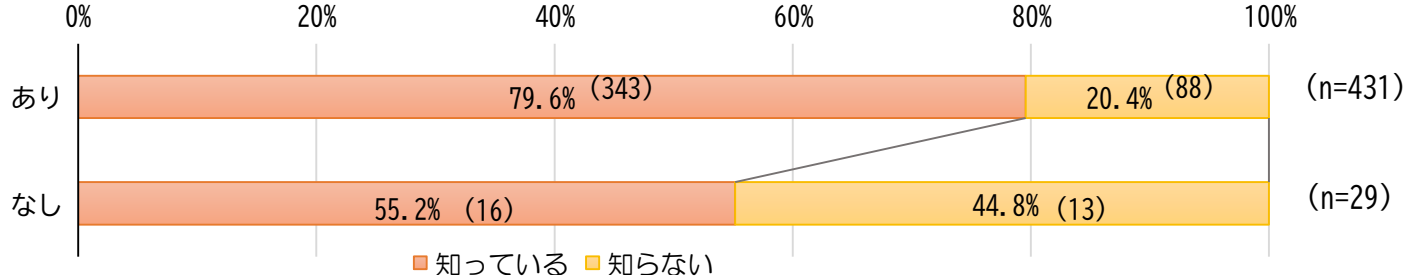
古川（合計：330人）	松山（合計：15人）	三本木（合計：15人）
1位 老朽化が著しい施設：226人（68.5%）	1位 老朽化が著しい施設：11人（73.3%）	1位 老朽化が著しい施設：12人（80.0%）
2位 利用頻度が低い施設：193人（58.5%）	2位 維持管理や運営に多くの費用がかかっている施設：6人（40.0%）	2位 利用頻度が低い施設：9人（60.0%）
3位 維持管理や運営に多くの費用がかかっている施設：113人（34.2%）	3位 利用頻度が低い施設 / 同様の機能を持つ施設が市内に複数ある施設（同率）：各4人（26.7%）	3位 民間施設で代用できる機能を持つ施設 ：5人（33.3%）

鹿島台（合計：20人）	岩出山（合計：32人）	鳴子温泉（合計：14人）
1位 老朽化が著しい施設：17人（85.0%）	1位 老朽化が著しい施設：18人（56.3%）	1位 老朽化が著しい施設：8人（57.1%）
2位 利用頻度が低い施設：15人（75.0%）	2位 利用頻度が低い施設：12人（37.5%）	2位 利用頻度が低い施設：5人（35.7%）
3位 維持管理や運営に多くの費用がかかっている施設：9人（45.0%）	3位 同様の機能を持つ施設が市内に複数ある施設：11人（34.4%）	3位 設備や機能が他施設より劣っている施設 ：4人（28.6%）

田尻（合計：31人）
1位 老朽化が著しい施設：21人（67.7%）
2位 利用頻度が低い施設：17人（54.8%）
3位 維持管理や運営に多くの費用がかかっている施設：10人（32.3%）

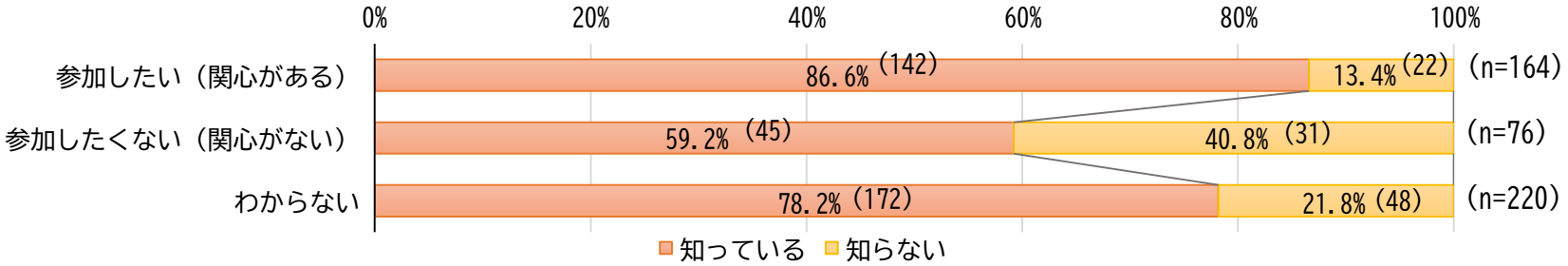
- すべての地域において老朽化が著しい施設が1位となっている。松山地域を除いたすべての地域で利用頻度が低い施設が2位となっている。第3位は，地域によってばらつきが生じているが，優先して見直す施設の状況について地域別に大きな差はない。

③ 施設利用の有無×施設の老朽化が課題となっていることを知っているか



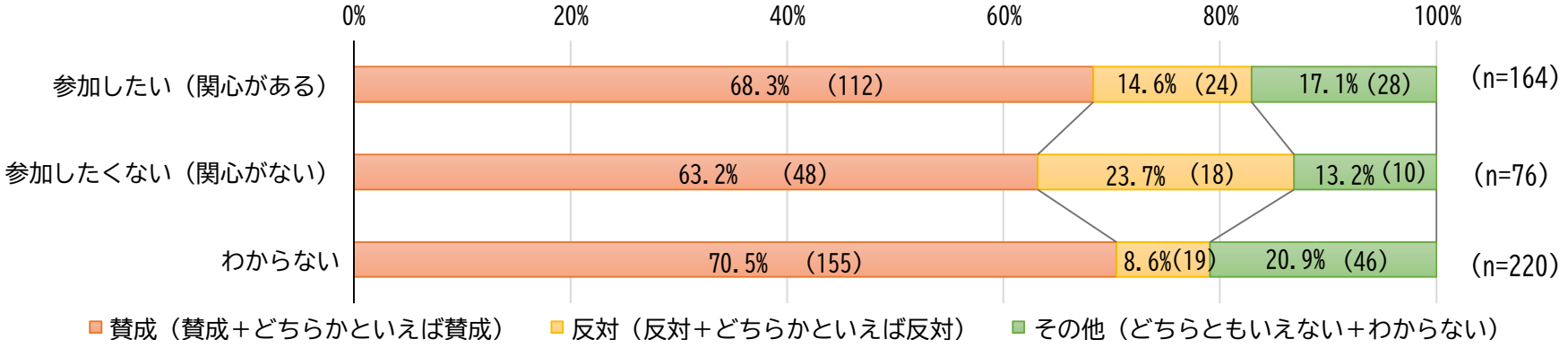
- 施設を利用している方の８割が施設の老朽化のについて認知しているが，施設を利用していない方の半数は認知されていない。

④ 住民説明会への参加意思×施設の老朽化が課題となっていることを知っているか



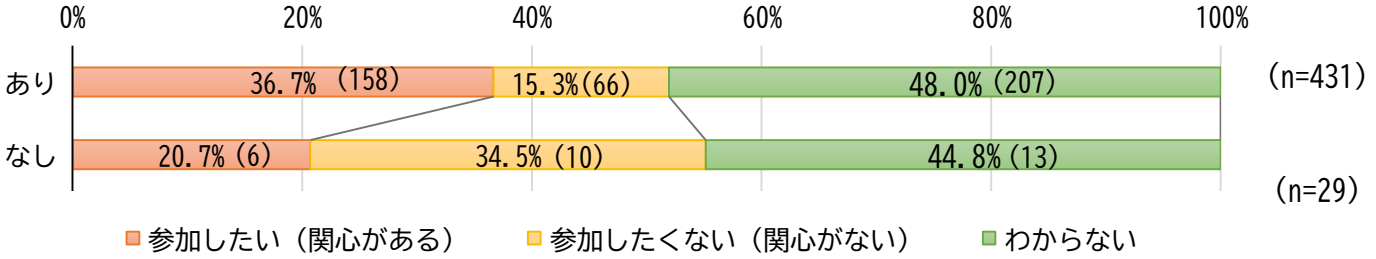
- 説明会に参加したい（関心がある）方のうち８割以上が老朽化が課題となっていることを認知されているが，参加したくない（関心がない人）の４割は老朽化が課題となっていることが認知されていない。

⑤ 住民説明会への参加意思×施設の集約化，複合化，規模を縮小することについて



- 住民説明会に参加したくないと回答した人は，施設の集約化，複合化，規模を縮小することについて反対の意見である人の割合が若干高い。

⑥ 施設利用の有無×住民説明会への参加意思



- 施設利用のない人は，ある人に比べ住民説明会に参加したくない（関心がない）の割合が２倍の比率となり関心が低いようである。

5.自由記載（代表的な意見）

◆合理化・再編に関する意見（６０件）
- 人口減少社会における公共施設の再編や削減は必要。数より中身，ハードよりソフトが大切。
- 類似施設は統合すべき。合併前の旧市町村の枠は考えないほうがよい。

◆高齢者福祉・地域コミュニティ・防災に関する意見（３６件）
- 防災や地域コミュニティの場としての公共施設は，利用頻度や老朽化だけで，存続・廃止を判断すべきではない。
- 地区ごとにある公民館などは，地区の最後の砦として，地区の活動には必要だと思う。

◆運営・管理体制・利用料金に関する意見（３０件）
- 駐車場の有料の地域的料金を考えて欲しい。
- 冷暖房の設置 ／ ・利用料金の平等化 ／ ・交通の利便性

◆子育て・複合化に関する意見（２５件）
- 図書館と子どもの遊び場の複合化
- 公園，子育て支援センター，図書館，公民館またはコミュニティセンターを一つにし，大きな屋内遊具施設を併設した複合施設が必要。

◆交通・駐車場に関する意見（２１件）
- 公共施設に市民バスが停まると便利だと思う。
- 廃止した場合のアクセス網の改善などは，公共施設の統廃合とパッケージで考えていくべき。

◆存続・維持を求める意見（７件）
- へき地の公民館は，絶対に無くしてはならない。
- 防災や地域コミュニティの場としての公共施設は，利用頻度や老朽化だけで，存続・廃止を判断すべきではない。

◆説明・情報公開・住民参加に関する意見（６件）
- 公共施設の場所や利用方法をもっとＰＲしてほしい。
- 住民説明会のyoutube限定公開，AI議事録の公開等，まずは判断材料となる情報を住民に渡してほしい。

6.簡易分析

①回答者の構成等について

- 回答者は，男性約4割に比べ，女性が約6割で女性のほうが高かった。
- 年齢別の回答者は，人口構成的に30代から60代までは回答率が高かったが，20代及び70代は低めであり，１0代の回答率は特に低かった。
- 居住地別は，古川が7割と人口構成的に若干高く，三本木，鹿島台，鳴子温泉の居住者の回答率が低かった。
- 居住年数別では，「30年以上」が最も多く約5割を占め，続いて「10年以上20年未満」，「20年以上30年未満」が約3割を占めている。
- 回答率が想定目標より低かった要因として，市民の公共施設に関する意識が低いことが想定される。

②公共施設の利用状況について

- 「子育て系施設」，「保健・福祉系施設」は，１割程度の方の利用にとどまる。
- 「集会施設」,「市民文化系施設」,「スポーツ・レクリエーション系施設」の約８割が「利用していない」，「年数回程度の利用」である低利用者層が占めている。

③公共施設を利用しない理由について

- 理由の７割が「利用する機会がない」で，利用料金よりも，利用機会，魅力，立地，開館時間，予約，周知が図られていないことが要因と思われる。

④公共施設の老朽化の認知について

- 施設を利用している方の約８割が認知しているが，施設を利用していない方の認知は約５割にとどまる。

⑤公共施設の集約化，複合化，規模縮小について

・規模・配置の見直しは，約７割が賛成傾向である。

⑥費用を抑えるための取組ついて

・「施設の見直し」は約７割，「減免制度の見直し」は約５割が賛成傾向だが，「使用料見直し」は，反対傾向である。

⑦似たような機能を持つ公共施設の「集約化」や「分散化」について

・「集約か分散か」は，施設ごとの個別判断を求める意見が最多である。

⑧優先して見直すべき対象施設について

・施設分類としては，「市民文化系」，「集会施設」，「スポーツ・レクリエーション系施設」が上位となっている。

⑨公共施設の施設の見直しで重視される施設の状況について

・「老朽化が著しい施設」と「利用頻度が低い施設」 への回答が多く見られる。

⑩住民説明会への参加意思について

・「わからない」が半数を占め，「参加したい」は３割程度となっている。
・特に低利用層について，「参加したい」の回答が少なく，低利用層以外の半分以下である。

⑪自由意見について

・施設の集約・統合・廃止への賛成意見が３割で，存続・維持を求める意見は１割にも満たない。高齢者福祉・地域コミュニティ・防災機能施設，子育て施設の充実要望や施設の運営に関する意見が５割程度あったが，施設以外の交通アクセス等の改善要望の意見も１割程度あった。